

平成25年度

能美市教育委員会の点検及び評価報告書

(平成24年度事業対象)

平成25年12月

能美市教育委員会

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）の一部改正により、平成 20 年 4 月から教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに市民に公開しなければならないこととなっています。

そこで、能美市教育委員会では、同法の規定により、平成 24 年度の取り組みについて、自らその状況を点検し評価を行い、金沢大学地域連携推進センター教授浅野秀重氏にご意見をいただき、まとめたものであります。

能美市教育委員会としては、点検・評価の実施を通して、施策の検証と改善を絶えず図りながら、教育施策の着実な推進に努めていきます。

平成 25 年 12 月

能美市教育委員会

目 次

1 事務の点検評価

施策1 学校教育の充実

- 1 教職員の資質並びに授業力の向上・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 豊かな心、確かな学力の向上・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 3 教育支援の充実・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 4 教育環境の整備充実・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

施策2 青少年の健全育成

- 1 青少年教育・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

施策3 生涯学習の推進

- 1 これからの国際化社会の中で活躍できる人材の育成と国際化の推進 10
- 2 生涯学習活動・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- 3 公民館活動の推進・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
- 4 社会教育施設の運営・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

施策4 芸術・文化の振興

- 1 文化財の保存と活用・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
- 2 博物館の活動・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
- 3 文化振興・・・・・・・・・・・・・・・・ 31

施策5 生涯スポーツの推進

- 1 競技スポーツの充実・強化・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
- 2 生涯スポーツの普及・振興・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
- 3 スポーツ施設の整備充実・・・・・・・・・・・・・・・・ 37

2 教育委員会会議及び教育委員の主な活動

- (1) 教育委員会会議・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
- (2) 教育委員の主な活動・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
- (3) 平成24年度教育委員会会議開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・ 41

施策1 学校教育の充実

地域に根ざした学校づくり，次世代を切り拓く人材の育成を目指して，豊かな心，確かな学力，たくましい体をバランスよく育む学校教育活動が展開できる教育環境づくりを推進する。新学習指導要領の趣旨実現のさらなる充実に向け，教育環境の整備を図る。

1 教職員の資質並びに授業力の向上

平成24年度の主な取組

◇学習指導要領改定に伴う中学校教材整備事業（11,249千円）

中学校学習指導要領の改訂に併せ，学習内容も大幅に改定された。教科書の刷新に伴い，教師用指導書を整備した。

10年に一度の学習指導要領全面改訂を機とする今回，教職員の授業力向上をめざし，中学校の理科，社会科と英語のデジタル教科書も整備した。

また，保健体育での武道必修化の完全実施に伴い，柔道用の畳を整備した。

評価

・教師用指導書を導入したことで新学習指導要領改定に伴う新しい教科書への対応をスムーズに行うことができた。併せて，デジタル教科書の購入は，ICT推進を進めていく中で効果的な活用につながった。

また，柔道の授業の場としての畳の整備を行うことで，体育の授業の充実を図ることができた。

〇意見

平成23年度に小学校教師用指導書の整備に続き，24年度は，中学校教師の指導書を整備したことは，教育活動に従事する教員の負担の軽減や市内中学校の教育実践の一体的推進に資するものであるとともに，中学校理科，社会科と英語のデジタル教科書の整備もさまざまな創意工夫を講じながら効果的な成果を導くものとして利活用されることを期待します。

また，柔道の学習のための畳の整備も，安心・安全な武道学習の推進に資するものと思われる，今後とも教育条件の整備に取り組まれますようお願いしています。

◇教科研修員派遣事業（207千円）

一昨年度開催した，教育フォーラムを機に立ち上げた事業で，3年目となる。

*目的 教科等（道徳等を含む）の専門性を高め，優れた授業実践力をもった教員を養成する。

*研修期間 1週間（5泊6日） ※旅費は市教委負担

*資格 能美市内小中学校勤務教諭（中堅層）で校長が推薦し，教育長が認めたものとする。 ※年間2名

- *役割 「(能美市)教科研修生」として先進校の授業実践に学び、
- ・在籍校で率先して授業を公開するなど、校内、市内の授業力向上に資する。
 - ・市内近隣校からの要請に応じ、研修会への参加を通して授業力向上に資する。
 - ・市教育委員会からの要請に応じ市内の授業力向上に資する。
- *実績 平成22年度(筑波大学附属小学校2名:国語,算数)
 平成23年度(筑波大学附属小学校1名:算数,上越市立大和小学校1名:ICT教育)
 平成24年度(筑波大学附属小学校2名:算数)

評価

- ・授業研修の先進校である筑波大学付属小学校に、時期をずらして、能美市内の2名の教員を派遣することができた。毎年、研修を終えた教員には、自校の職員に研修の成果を還元することはもちろん、能美市の研修会で、講師を担い、広く市内の教員にも研修内容を広げている。
- ・毎年、8月の夏季教職員研修会では研修講座を開設して市内の教職員への発信を予定しており、今後も能美市全体の指導力向上につなげたい。

意見

教育基本法第7条に規定するように、学校の教員は、自己の使命を自覚し、絶えず研究と修養に努めることが求められていることから、研修は、積極的に奨励されなければなりません。また、代表として中央研修等に派遣された教員が、その学びの成果を他の教員と共有しながら全体として市の教育活動の水準の向上に生かすこととなる営みも貴重なものと思います。そのことが市内の教員の全体的な力量の向上に寄与するものとなるからです。

2 豊かな心、確かな学力の向上 豊かな心, 確かな学力 (豊かな学力)

平成24年度の主な取組

◇視聴覚機器等活用推進事業(7,751千円)

視聴覚機器等を教具として積極的に活用し、授業改善、授業力の向上を図る。3カ年間(H22~24年度)で、計画的に市内全小中学校を視聴覚機器等活用推進モデル校(以下、推進モデル校)に指定し、研究実践する。また推進モデル校は公開発表の機会を通して研究実践を市内に発信し、活用実践力の向上を図る。

- *推進モデル校 H22:浜小・宮竹小・寺井中
 H23:寺井小・粟生小・和気小・根上中・辰口中
 H24:福岡小・湯野小・辰口中央小

＊教科用ソフト「学習探検ナビ（マナビー）」の配備

- ・小学校（国語，算数，社会，理科，生活，体育，図工）
- ・中学校（国語，数学，社会，理科，英語，技術家庭，保健体育）

＊ICT外部サポーター（教育ソフトサポート業務）の配置

- ・役割 授業，教員研修，校務におけるICT支援
- ・推進モデル校 3校 月3回 その他の学校 月2回

＊H24年度に新規に配備した視聴覚機器

- | | |
|-------------|-----|
| ・スマートボード | 3台 |
| ・モバイルパソコン | 26台 |
| ・実物投影機 | 24台 |
| ・プロジェクター | 6台 |
| ・ブルーレイプレーヤー | 37台 |

＊研究実践概要

- ・実物投影機等の効果的な活用方法を探り，授業改善を図る。
- ・「学習探検ナビ（マナビー）」を活用し，効果的な授業構成をする。
- ・外部講師を招聘して視聴覚機器等の効果的な活用法について積極的に研修し，授業実践力を高める。

＊能美市公開研究授業の機会にICTを活用

- ・24/10/5 NOMIりんぐ 宮竹小，寺井小，寺井中
- ・25/1/24 NOMIばんぶー 福岡小，湯野小，辰口中央小

＊能美市内教職員アンケート結果より抜粋

- ・「授業でICTを使っていますか。」・・・62%
- ・「ICT活用が児童生徒の学習への意欲や関心を高めていると感じていますか。」・・・92%
- ・「ICT活用が授業の改善につながっていると感じますか。」・・・79%

評価

- ・ICT機器については平成23～25年度でほぼ整備完了予定であるが，ICT外部サポーターの配置や，デジタル教科書の導入は，学校のニーズも高く，ハード面の体制も整ってきているため，今後も配備をすすめていきたい。
- ・平成22～24年度の3年間で全小中学校を「視聴覚機器等活用推進モデル校」に指定し，公開授業発表を以て市内教職員に発信してきた。「まずは使ってみる」という第1段階を経て，今ではハード面，ソフト面からの学校からのニーズもあがるようになってきた。第2段階として，ICTを活用する授業実践力を更に向上させ，「わかる」授業から「できる」授業へと指導力向上が図られてきている。平成25年度は，第54回石川県視聴覚教育研究大会能美大会が開催される予定であり，この機を捉えて市内外へ発信を行い，実践力向上を図っていく。

- ・ ICT機器の活用におけるハード面，ソフト面，リテラシー面が三位一体すること
で，さらに，児童生徒の学習意欲の向上，授業の工夫や改善につなげ，教師の授業力
向上，学力向上につなげていきたい。

○意見

前年度の意見において述べたことではありますが，教員がICT機器を効果的に活用することは，児童・生徒にとって，授業の中身が「よくわかる」，「はっきりわかる」ことを明確化する効果があるものと思われます。

今後とも，ICTのC(コミュニケーション能力)の向上にも十分な心配りに努めながら，児童・生徒の「豊かな学力」の向上だけでなく，豊かな心の育成にも尽力くださることを願っています。

また，すでに開催されたであろう平成25年度の県視聴覚教育研究大会会場自治体として，その成果を今後の実践の視聴覚中で検証していただくことを願っています。

◇心の教育（人間関係力）推進事業（2,847千円）

「心の教育推進事業」として，道徳教育，特別活動を各学校での重要な領域と位置づけ，すべての教育活動をトータルに進めていくことが大切であるとする。

昨今，一人ひとりの心のあり様や価値観，人間関係づくり（人間関係力）の稚拙さなどに起因して，いじめ，不登校などの教育問題に加え，規範意識やモラルの低下，自殺，虐待などが教育問題の範疇を越えた大きな社会問題となっている。より良い学校生活と友達づくりのためのQ-Uアンケートを小学校4年生から中学校3年生までの全員に実施し，子ども一人ひとりの成長とすべての教育活動の要としての「学級づくり」に有効に活用し，心の教育のさらなる充実を図ってきたい。

*目的	より良い学校生活と友達づくりのためのアンケートで親和的な学級づくりを目指す。
*対象学年	小学校4年生～中学校3年生全員
*実施回数	年間2回（6月，11月）
*実績	「親和的な学級」に属する学級数の割合
	23年度 6月実施：38%→11月実施：54%
	24年度 6月実施：52%→11月実施：61%

評価

- ・ Q-Uアンケートの実施により，これまで以上に人間関係づくりを大切にした学級経営意識を高くもち，いじめ，不登校等の未然防止にもつながっている。一人ひとりの児童生徒をきめ細かく指導することで，本人，保護者との信頼関係が醸成され，すべての子どもが楽しく意欲的に学校生活を送れることをめざしている。
- ・ 導入2年目となり，教職員の一人ひとりが，Q-Uアンケートの意義をしっかりと

理解し、学級づくりに活用していくためのスキルアップを図ることができた。8月の夏季教職員研修会にこのアンケートの創始者を講師として招聘し、市内教職員全員がその活用法について更に研修を深めた。また、実践研究校を指定して、研究成果を市内に発信することができた。学級作り・人間関係づくりの手立てとしての活用は勿論、いじめ、不登校等の未然防止・早期発見に確実につなげたい。

○意見

Q-Uアンケートの実施が、自己評価のように「これまで以上に人間関係づくりを大切にした学級経営意識を高くもち、いじめ、不登校等の未然防止にもつながっている」のであれば、それは市の行う「心の教育（人間関係力）推進事業」の大きな成果と申しても過言ではないでしょう。

経済産業省が、近年、職場や地域社会で多様な人と仕事をしていくための基礎的な力として「社会人基礎力」というものを提起し、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の3つの能力で形成されるとしています。能美市が推進する「人間関係力」事業は、「社会人基礎力」の考えと軌を一にするものと思われ、児童・生徒の時期にその基盤を培うものと思います。

3 教育支援の充実

平成24年度の主な取組

◇特別支援教育支援員配置事業（21,065千円）

平成24年10月時点での能美市内の小中学校からの報告によれば、学習障害LD、注意欠陥・多動性障害ADHD、高機能自閉症HFAなど、いわゆる発達障害の児童・生徒、またはその疑いがある児童・生徒数は合計で109名である。この児童・生徒を含めて、学校で特別な支援が必要な児童・生徒数は全体で207名と報告されており、市内小中学生全体の4.2%（文科省：全国では6%）にあたる。

この割合は年々増加傾向を示しており、その支援体制の充実が急務である。昨年度、市内で16名の支援員を配置しているが、今年度は3名増員して全体で19名を配置し支援体制を充実する。

*配置人員	平成22年度	小学校11名、中学校2名	計13名
	平成23年度	小学校14名、中学校2名	計16名
	平成24年度	小学校16名、中学校3名	計19名

評価

- ・発達障害を含め通常教室の中で特別な支援が必要な児童・生徒は年々増えており、特別支援教育支援員を増員することによって、学級づくりの充実、個に応じた支援体制の充実、安全安心の学校づくりが期待できる。低学年から中学年では学級に2~3名はいるのが現状である。1学年に3~4学級ある浜小、寺井小、辰口中央小などの大規

模校では、支援員の人数は3～4名は必要である。特別支援教育支援員の増員により、学校全体の支援体制の充実につなげることができた。

- ・ 支援が必要な児童・生徒の増加に加え、大量退職時代に伴う新規採用教職員も年々増加してきており、経験が浅く未熟がゆえに特別な支援が必要な児童生徒への行き届いた対応に課題があるといえる。きめ細かな指導と学力保障をしていくうえでも、支援員の質と量のさらなる充実は欠かせない。

○意見

クラスを担当する教員に求められるものとして「クラス全体を対象にしているときも一人ひとりの子どもを忘れず、一人ひとりの子どもを相手にしているときも、クラス全体を忘れない」こと、といわれることがありますが、特別な支援を必要とする児童・生徒に、担任教員だけが向き合うという体制ではなく、特別支援教育支援員の増強を図るなど、予算上の課題や人員確保などの点で一朝一夕にという打開策はなかなか見出しえない状況かとは思いますが、今後とも鋭意その拡充に努められますよう願っています。

教育活動の水準の維持・向上のために、経験豊かな退職教員の協力を仰いだり、実践経験の少ない教員に対する研修の在り方を検討するなどの施策の推進がさらに求められているように思われます。

4 教育環境の整備充実

平成24年度の主な取組

◇浜小学校整備事業 (電気設備改修)	2,468千円
◇浜小学校整備事業 再編交付金 (上下可動式黒板設置)	5,691千円
◇福岡小学校整備事業 再編交付金 (上下可動式黒板設置)	1,428千円
◇福岡小学校防音空調整備事業 (温度保持復旧及び除湿設備)	21,998千円
◇寺井小学校整備事業 (空調設備改修)	1,502千円
◇寺井小学校大規模改造事業 (設計)	6,668千円
◇辰口中央小学校整備事業 (多目的トイレ設置, 消防設備改修)	7,565千円
◇辰口中央小学校防音空調整備事業 (設計)	8,085千円
◇宮竹小学校整備事業	2,646千円

(消防設備改修, 上下可動式黒板設置)

◇宮竹小学校防音空調整備事業 (設計)	945 千円
◇和気小学校整備事業 (オイル配管改修)	1, 208 千円
◇根上中学校整備事業 (自転車置場改修)	2, 993 千円
◇寺井中学校大規模改造事業 (建築, 機械設備, 電気設備, 外構改修)	199, 248 千円
◇辰口中学校講堂建設事業 (地質調査)	1, 281 千円

評価

・市内全小中学校の冷暖房整備率 100%を目指して, 辰口中央小学校, 宮竹小学校の設計業務が完了した。平成 25 年度は 2 校の工事を実施するとともに, 残る 1 校の整備についても早急に進め, より良い学校環境の構築を図りたい。

・老朽化が進んでいた寺井中学校の大規模改造工事が完了した。特に多目的トイレの新設や温水洗浄便座トイレの導入, 照明機器の増設等, ニーズに応じた整備を実施し, 教育環境の向上を図った。

意見

学校は, 児童・生徒が一日の大半を過ごす「学び, 生活の場」としての「公の施設」であり, 学校施設の整備は, 児童・生徒の最善の利益を前提にして行われる必要があると思われま。

また, 教育環境の整備は, あえていえば, 教育の物的環境の整備という面がないわけではありませんが, 物的環境の整備は, 同時に教育活動という教育の内的・質的活動に影響を与えるものでもあることから, 教育環境の整備は, 不断に取り組みことが求められます。

また, 地域の災害等の非常時には, 一定期間の「避難所」, 「生活の拠点」となる場合もあり, 空調整備, 多目的トイレ等の整備は評価されなければなりません。

施策 2 青少年の健全育成

青少年の心豊かな人間性を育む地域形成を目指し, 地域・学校・家庭が相互に連絡・協力し, 地域活動の体験・研修を推進します。

1 青少年教育

平成 24 年度の主な取組

- ◇ 青少年健全育成事業 (787 千円)

- ・ 各種会議
 - ◇ 青少年問題協議会の開催
 - ◇ 青少年健全育成センター運営協議会の開催
- ・ パトロール
 - ◇ 夏休み期間中及び九谷茶碗まつり、七夕まつり、辰口まつりの際にパトロールを実施
- ・ あいさつ
 - ◇ 市内小学校5年生にあいさつ標語を募集
508作品の中から入賞作品を決定【最優秀賞（8名）優秀賞（9名）】
最優秀賞作品については看板を作成し、各小学校に掲示
- ・ 講演会
 - ◇ 青少年健全育成講演会の開催
演題 「福島県で生きること〜ルワンダ内戦と東日本大震災を体験して〜」
講師 NPOルワンダの教育を考える会理事長
カンベンガー・マリールイズ 氏

◇ 心の教育関連事業（1, 721 千円）

- ・ 家庭教育推進事業
 - ◇ 「親子のふれあい」や「青少年の豊かな心を育む家庭教育のあり方」をテーマに取り組んだ計 42 団体(保育園, 小中学校, 子育て支援センター)に対して活動補助
- ・ 地域教育推進事業
 - ◇ 子どもたちを核に「地域のふれあい」や「青少年の健全育成」をテーマに, 1年を通して取り組んだ市内 4 団体に対して活動補助
- ・ ふれあいあいさつデー
 - ◇ 毎月 15 日を「あいさつデー」とし, 各町で公民館, 学校 P T A を中心に実施
 - ◇ 9 月 3 日(月)~7 日(金)を強化週間として平日 5 日間に開催(延べ約 2, 500 人が街頭に立つ)
 - ◇ あいさつデー啓発ポスターは辰口中学校 3 年生田中祐衣さんの作品を採用
- ・ 野外体験
 - ◇ のみ♡子育てネットワークと児童・子育て専門部会が共催し, 子どもたちのたくましい豊かな心とからだを育てる冒険企画「ぼくもわたしもトムソーヤ! 2012」を開催した。本活動は, イワナつかみや陶板焼き, キャンプファイヤーなどに研修として参加することによって, 自分の力で, 野外で活動できる力を身につけるものです。
→事業終了後に, 子どもと保護者の両方に, アンケートを実施したところ,

下記の通り「もっと企画を増やしてほしい」「もっとメリハリがほしい」といった次回に向けた意欲的な意見があった一方で、「友達ができた」「また参加したい」などの肯定的な回答を多くいただいた。

- ・お天気に恵まれてとても良い経験ができました。また参加したいです。
 - ・最後のゲームが楽しかった。
 - ・1泊2日がとても楽しかったです。高学年の子とも友達になれたので、すごくうれしかったです。また来たいなあと思いました。
 - ・自然散策で仲良くなった子もいたし、山の中に入るのは大変だったけれど楽しかったです。
 - ・新しい友達がたくさん出来て良かったです。
 - ・思ったよりも友達ができて、楽しかったです。
 - ・不自由な生活も面白い。テラスに出て雨の音、風の音、そして森の木々の音が五感で伝わりました。
 - ・自然と人とのふれあいができて、大切なものを感じました。
 - ・今回は2回目の参加でしたが、来年も参加したいです。
 - ・子どもたちにも良い経験になったと思います。
 - ・念願のクワガタをGetでき、大満足でした。来年も参加したいです。
 - ・夜なかなか寝れなかった。
 - ・夜が1番楽しい。
 - ・自分のことは自分で・・・最後まで責任をもつての参加はとても良かったです。
 - ・奇跡的な天候にびっくりです。
 - ・夜の懇親会で、お父さんもお母さんもほとんどの方が参加してくれてうれしかったです。
 - ・自由時間の鬼ごっこが楽しかったです。
 - ・スタンプラリーはあと一個だったから悔しかったです。
 - ・全員参加型がよかった。「自分のことは自分で、まわりの子を助けて」というのは大事。子どもが小学生のうちだけの特別な体験ができ、とても嬉しかったです。
- ☆何にでも使える氷があったら良い。
- ☆やかんのお茶、コップがなくて飲めなかった。水筒もコップなしだったので、持参品にコップがかいてあるとよかった。
- ☆持参品に長そで長ズボン、クロックス禁止が記載してあればいいな。
- ☆もうちょっと企画を増やしてほしい。
- ☆部屋の名簿はひらがなにしないと読めない子どもがかわいそう。
- ☆同じくらいの年齢で割り振られていたが、次回はいろんな年齢で分かれてお兄ちゃん、お姉ちゃんの動きを下の子たちが感じる場があるといいと

思う。

☆もっとめりはりがほしい。グダグダすぎる。

☆途中参加だったので、何を手伝えれば良いか迷った。

など

評価

・毎月15日を「ふれあいあいさつデー」として設定し、あいさつ運動を実施することにより小・中学生の規範意識を高めています。15日以外にも自主的にあいさつ運動を実施している町会もあり、市民の中に、心の教育をあいさつからはじめるといった意識が、醸成されてきています。

・能美市のお祭り（根上七夕まつり、九谷茶碗まつり、辰口まつり）と子どもたちの夏休み期間中に、パトロールを実施している。実施中声かけを行うケースは、稀にある程度なので、今後は時間帯の変更や、人数の再構成を検討する必要がある。

・能美市内の親子90組程度を対象に、宿泊研修を実施した。アンケートの結果からうかがえる通り、親子での参加、全員参加型ということもあり、子どもにとっても親にとっても非常に貴重な体験になった。事務、内容に反省があったので、次年度はそれらを改善する必要がある。また、児童・子育て専門部会のスタッフが、現在運営に協力しているが、若いスタッフも確保する必要がある。

〇意見

毎月15日を「ふれあいあいさつデー」として設定し、あいさつが、家庭の中だけでなく、地域においても交わされるような取り組みは、明るい社会、活力ある魅力的なふるさとづくりの契機となるものであり、地域の子どもを地域総ぐるみで育てる活動とすることができます。次代を担う青少年を非行から守り、健全に育成する責務を先行する世代である大人は負っています。あいさつ運動を一つの契機にしながら、その活動のさらなる広がりを期待いたします。

野外体験活動である「ぼくもわたしもトムソーヤ！2012」事業は、その企画、運営、実施、事後指導などの面において様々な工夫が求められる事業と思われます。事業全体を安全に遂行することはもちろんですが、参加者から寄せられたアンケートを見ても、繰り返されることのない貴重な経験、非日常的な活動から様々な学びの機会であったことをうかがい知ることができます。「事務、内容に反省があった」との自己評価ですが、次年度以降の企画に、改善を要する事柄を反映した事業として実施されるよう願っています。

施策3 生涯学習の推進

市民一人ひとりの生きがいや心の豊かさを実現するため、学習環境づくりや公民館活動などを核とした連帯と活力ある地域づくりを推進する。

1 これからの国際化社会の中で活躍できる人材の育成と国際化の推進

平成 24 年度の主な取組

◇国際交流員招致事業（5, 011 千円）

国際交流員を招致し，国際理解や多文化共生社会の推進に努めた。

◇国際交流推進事業（1, 826 千円）

・国際交流イベントの開催

市内小学生を対象にハロウィン，イースターを体験するイベントを実施。海外の文化を体験する機会を設けた。

・外国語講座，日本語講座の開催

国際交流に必要とされるコミュニケーション能力をつける外国語講座として，国際交流員による英会話初級，ENGLISH ONLY CLASS，国際交流サロンを開催した。

市内在住・在勤の外国人を対象に日本語講座を開講している。

・ジャパンテント

世界 77 の国と地域から石川県を訪れた 300 人の留学生と県民との交流を深める「第 25 回記念 JAPAN TENT－世界留学生交流・いしかわ 2012」が開催された。

本市では 17 ホストファミリーが 24 名の留学生を 3 泊 4 日の日程で受け入れた。

能美市が誇る郷土料理「押しずし」の調理体験や、「丸谷焼ウルトラマンシリーズ」の絵付け体験，辰口まつりのじょんから踊りコンクール参加等“能美市ならではの”のおもてなしで留学生をもてなした。

◇関連団体交流活動等支援（380 千円）

市内の国際交流活動を行う 4 団体（ねあがりカライダスコープ，石川県白山ユネスコクラブ，能美市日中友好協会，Nomi 国際交流協会）に対し，活動補助金を交付している。また，能美市国際交流連絡協議会にて市内の国際交流団体と日本語講師会が話し合い，活動報告，情報交換，相互の活動連携を推進した。

評価

国際交流員が中心となり，市民が国際交流員の出身国文化を学んだり，国際交流に必要なコミュニケーションツールとして英語を学ぶ機会を創出し，国際理解推進の機会を整えている。一方でジャパンテントのホストファミリーが固定化する傾向がみられるため，前年度の能美市プログラムの写真やホストファミリーになるメリットを伝える展示場所を設けるなど新規ホストファミリーを開拓し，国際交流の裾野を広げる必要がある。

日本語教室（根上会場）は開講 3 年目を迎え，能美日本語講師会と生涯学習課が外国人労働者を雇用する企業を定期的に訪問し，教室の周知広報に努めている。また，Nomi 国際交流協会日本語講師会による日本語教室では，北陸先端科学技術大学院大学に通う留学生

とその家族を対象に日本語を教えており、市内全域で外国人住民に日本語を学ぶ機会を創出できている。

今後、能美市主催の日本語講師養成講座を開催し、新規日本語講師を養成するほか、石川県国際交流協会が主催する日本語講師養成講座に参加するなど講師がスキルアップするための環境を整え、市内在住・在勤外国人が日本語を学ぶ環境の向上を目指す。

○意見

地球的視野で考え、身近なところから取り組もうという、think globally, act locally という言葉がありますが、今日、国際化への対応は、待ったなしという状況です。すでに国際交流員の招致、外国語教室、日本語教室などの事業に取り組まれながら、市民や子どもたちに海外の文化に触れる機会を提供しているところですが、市民に限らず、外国人住民相互にさらなる交流が深まるよう期待します。

2 生涯学習活動

平成 24 年度の主な取組

◇まなびフェスタ 2013 (1, 188 千円)

「広がれつながれ 人の和 能美の輪」をスローガンに、6 分科会に分かれてテーマごとに意見交換を行った。また、文化活動を気軽に体験し、生涯学習への一層の興味、関心を持っていただくため、5 つのお試し体験講座を行った。

No.1 分科会

「やってみよう！今ウワサのニュースポーツ」
～いつでも どこでも だれでも いつまでも～

No.2 分科会

「シニア世代の自分のための時間割」
～身も心もスッキリと生きるために～

No.3 分科会

「本づくりの喜び」
～多様な真実を求めて～

No.4 分科会

「はじめまして ‘えんがわ,, です」
～子どもから高齢者まで地域で元気に過ごしていくために～

No.5 分科会

「易しい 優しい 家庭学習」
～言葉の魔法でフォロー達人の親になれる～

No.6 分科会

「みんなで築ろう 親子で積み木遊び」
～なにができるかな・・・わくわく・ドキドキ～

No.7 お試し体験講座

「ホストファミリー英会話」

～おもてなしに役立つ表現を学びましょう～

No. 8 お試し体験講座

「古代の暮らしを体験してみよう！」

～体験を通した歴史学習の実践～

No. 9 お試し体験講座

「サルサダンス」

～ラテンリズムを楽しもう～

No. 10 お試し体験講座

「はじめての手話」

—あなたの言葉が届くように—

～楽しく手話をおぼえましょう～

No. 11 お試し体験講座

「ちぎり絵を貼ってみませんか」

～手先を使って～

参加者アンケートから

- ・ とても良かった。本当に大切なものをもっと大人が若い世代に伝えていく講座をこれからも企画してほしい。有難うございました。
- ・ 世代の異なる方々と話し合う機会が少ないので、参加してとても良かった。いろいろな取り組みを知ることで、町づくりの参考になりました。
- ・ 先生の優しさおおらかさに触れられて、ほっこりし、とても良いお話で、今後の子育てに役立てていきたい。
- ・ 分かり易い内容で良かった。
- ・ 初めて参加したが、和気藹々と楽しく学ぶことが出来、とても良かった。

◇高齢者学級 (361 千円)

長寿社会に適應できる知識や教養を身に付け、生きがいのある生活を目指して、年 5 回の講座を設定し、教養、健康福祉、趣味等の講座を開催した。

すこやか学級 テーマ「人生を楽しく すこやかに」 5 回開催

すえひろ学級 テーマ「いきいき 楽しい人生を」 5 回開催

はまなす学級 テーマ「生きがいと心の豊かさを求めて」 5 回開催

評価

○まなびフェスタ

生涯学習推進のため、各方面で活動する多数の市民参加によるまなびフェスタを開催した。6つの分科会を行い市民間で意見を交換した。また5つのお試し体験講座を行い文化活動を気軽に体験し、生涯学習への一層の興味、関心を持っていただいた。

教育・福祉など様々な分野にまたがっているので、全庁的に取り組む連携体制を整えて、参加者アンケートの意見も取り入れながら、市民のまちづくり意識を高め、「協

働型まちづくり」の推進を目指していきたい。

○高齢者学級

根上・寺井・辰口の3地区で、6月から10月まで(年5回)高齢者学級を開催しました。参加者が興味を持ち、喜んでもらえるような内容を考え、実施しました。

○意見

まなびフェスタは、地域住民の「学び」をメインにした交流の機会であるとともに、日々の学習の成果の発表の機会でもあります。開催の日時や場所、参加者数などが記載されてはおりませんが、多くの市民が、「昨日と違う今日の自分、今日と違う明日の自分づくりへの営み」としての学びの意義を、自らあるいは仲間とともに確認し合う機会となるものと思います。

能美市は、東西にひろがった特徴を持つので、開催会場を変えて開催するというのも参加者層の拡大の一助となるかもしれません。

高齢者学級は、高齢者の社会参加を促進する面があるということを否定できませんので、マンネリ化することなく、新たな視点に立ってその事業を今後とも強力に推進されますよう期待します。

3 公民館活動の推進

平成24年度の主な取組

◇成人式(1,740千円)

成人の日を迎える若者を祝い励ますと同時に、社会の一員としての自覚を深め、社会に羽ばたいてくれることを期待して開催した。

開催日 平成25年1月13日(日)10時から

会場・時間 根上総合文化会館 10時開式

寺井地区公民館 10時30分開式

辰口福祉会館 11時開式

参加者数

地区	性別	実参加者数	参加対象者数	参加率
根上	男	73人	96人	76.04%
	女	76人	90人	84.44%
寺井	男	94人	116人	81.03%
	女	74人	94人	78.72%
辰口	男	69人	92人	75.00%
	女	57人	93人	61.29%
計	男	236人	304人	77.63%
	女	207人	277人	74.72%

◇立志式（190 千円）

中学 2 年生を対象に，自ら将来に臨んで志を立て，次代の社会を担うものとしての誇りと自覚，さらにこれを実践するための健康な心身をつくることを目標に持たせるため，実施した。平成 24 年度も 3 中学校同時に開催した。

○式典

日 時：平成 25 年 2 月 13 日（水） 14：00～
開 場：根上総合文化会館 音楽ホール「タント」
参加人数：根上地区 173 名
 寺井地区 190 名
 辰口地区 176 名 計 539 名

○記念講演

講 師：大山 加奈 氏（元バレーボール選手）
演 台：「夢は叶う」

◇総合文化祭（1, 178 千円）

〈展示部門〉

日 程 11 月 2 日（金）～11 月 4 日（日）
会 場 根上総合文化会館，根上学習センター，寺井地区公民館，寺井図書館，
辰口福祉会館
内 容 絵画，水墨画，書道，生け花などの市文化協会作品をはじめ，各地区公民館，CC 館，児童館，そのほか各教室，サークル，一般の作品を展示した。
平成 24 年度は，11 月 4 日開催の「文化協会合同公演」の際に，新たにお茶席（煎茶席）を設け，発表会を盛り上げた。

〈発表部門〉

○ジュニア文化発表会

日 程 10 月 29 日（月）
会 場 根上総合文化会館音楽ホール「タント」
内 容 市内小・中学校の児童・生徒が元気いっぱい合唱や演奏を披露した。

○市民文化・芸能大会

日 程 11 月 10 日（土）
会 場 根上総合文化会館音楽ホール「タント」
内 容 市内の自治公民館及び市内で活躍しているサークル・団体がこの日のために練習してきた出し物を披露した。

◇ 公民館活動(17, 984 千円)

○自治公民館

・能美市自治公民館協議会

期日	行事名	会場
2月16日	能美市自治公民館協議会 役員会	寺井地区公民館
3月1日	能美市自治公民館協議会 総会	寺井地区公民館
3月16日	能美市自治公民館協議会 役員会	寺井地区公民館
6月8日	能美市自治公民館協議会 視察研修会	協働まちづくりセンター
6月17日	県政出前講座「おもてなし講座」	ふるさと研修センターさらい
9月27日	能美市自治公民館協議会 役員会	寺井地区公民館
11月10日	第8回市民文化・芸能大会	根上総合文化会館
11月17日	能美市自治公民館協議会 視察研修会	福井県熊川宿方面

・根上地区自治公民館協議会

期日	行事名	会場
1月26日	根上地区自治公民館協議会 総会	八松苑（下ノ江町）
4月20日	根上地区自治公民館協議会 館長会	根上総合文化会館
5月27日	第8回スポーツフェスティバル in ねあがり	浜小学校グラウンド
6月2～10日	花いっぱい運動	根上地区各所
6月18日	根上地区自治公民館協議会 館長会	根上総合文化会館
6月30日	根上地区自治公民館協議会 視察研修会	金沢市東茶屋街一帯
7月4日	根上地区自治公民館協議会 館長会, 料理講習会	根上学習センター
7月21日	根上り七夕まつり「踊りの夕べ」コンクール	根上総合文化会館周辺
8月20日	根上地区自治公民館協議会 館長会, 出前講座	根上総合文化会館
11月10日	第8回市民文化・芸能大会	根上総合文化会館
12月20日	根上地区自治公民館協議会 館長会及び懇親会	北野肉店（大成町）

・寺井地区自治公民館協議会

期日	行事名	会場
2月3日	寺井地区自治公民館協議会 総会	八松苑（下ノ江町）
6月17日	寺井地区さわやかグラウンドゴルフ大会	寺井グラウンドゴルフ場
6月23日	寺井地区自治公民館協議会 視察研修会	金沢市本多町周辺
7月8日	寺井地区クリーンデー	寺井地区町内一円
8月29日	寺井地区自治公民館長・体育部長会	寺井地区公民館
10月7日	第8回 スポーツフェスティバル in てらい	寺井小グラウンド
10月14日	第8回寺井地区一周駅伝競走大会	寺井地区各町内一周

10月14日	第8回寺井地区ソフトバレーボール大会	寺井体育館
12月24日	寺井地区自治公民館協議会 館長会	まつさき（辰口町）

・辰口地区自治公民館協議会

期日	行事名	会場
2月10日	辰口地区自治公民館長会 総会	辰口福祉会館
5月29日	辰口地区公民館事業推進委員会	辰口福祉会館
6月24日	辰口地区自治公民館長会 視察研修会	愛知県瀬戸市方面
10月7日	第8回スポーツフェスティバル in たつのくち	物見山陸上競技場
12月1日	辰口地区自治公民館長会 研修会	辰口福祉会館

○ 地区公民館

・根上地区公民館

期日	行事名	会場
3月29日	根上地区スポーツ・文化協議会	根上総合文化会館
5月27日	第8回スポーツフェスティバル in ねあがり	浜小学校グラウンド
7月21日	根上り七夕まつり「踊りの夕べ」コンクール	根上総合文化会館周辺
11月10日	第8回市民文化・芸能大会	根上総合文化会館
12月16日	国際交流サロン in 能美 2012	根上総合文化会館

・寺井地区公民館

期日	行事名	会場
5月18日	第1回寺井地区公民館運営委員会	寺井地区公民館
6月17日	寺井地区市民さわやかグラウンドゴルフ大会	寺井グラウンドゴルフ場
7月1日	三世代ふれあい子ども体験まつり	寺井地区公民館
7月8日	寺井地区クリーンデー	寺井地区一円
10月7日	第8回スポーツフェスティバル in てらい	寺井小グラウンド
10月14日	第8回寺井地区一周駅伝競走大会	寺井地区一円
10月14日	第8回寺井地区ソフトバレーボール大会	寺井体育館
10月15日	健康ジョキング教室 10/15～26	寺井小グラウンド
12月19日	第2回寺井地区公民館運営委員会	寺井地区公民館

・辰口地区公民館

期日	行事名	会場
6月30日	能美市でホテルを見よう!「ホテルの観察会」	ふるさと研修センター
7月28日	国際交流サロン2012	岩内コミュニティセンター
8月3日	夏休み手作り教室「飾り棚をつくろう」	ふるさと研修センター
10月7日	第8回スポーツフェスティバル in たつのくち	物見山陸上競技場
10月21日	2012 ひまど「オカリナフェスタ!」	寺畠せせらぎ会館
平成25年3月10日	体験教室 しいたけの植菌	博物館

評価

○公民館

公民館は、生涯学習の拠点として様々な事業を実施している。公民館には、大きく分けて地区公民館と自治公民館があり、地区公民館では、自治公民館間のコーディネーターとして、地区公民館で開催する事業の情報を提供したり、自治公民館からの情報を集約したり、懇談会や研修会などを開催することで、自治公民館同士の結びつきを強めている。

また、自治公民館では、町内単位や小学校単位で活動しているところもあり、地域コミュニティ形成に必要な存在になっている。今後は、地区公民館を中心に、自治公民館同士の交流をさらに強め、市内一丸となって地域を元気にすることが求められる。

○成人式

成人式は、3会場(根上、寺井、辰口)に分かれてそれぞれ開催している。平成24年度は、どの地区も大きな問題はなく、厳粛なうちに終了することができた。式典の運営については、実行委員制度を採用しており、新成人の中から実行委員を選び、地区毎に、式典内容の企画・運営をしている。実行委員の他にも、式典協力者(謝辞、子から親への感謝の手紙など)や受付協力者を募り、新成人の力で成人式を運営するような形となっている。その他にも実行委員は、恩師からのビデオメッセージを作成したり、保育園から中学校までの思い出を写真としてまとめたスライドショーを作成したり、式後に行うティーパーティの運営を行うなど、どれも意欲的に取り組んでいる様子が見えた。

○立志式

立志式は、平成22年度から3会場で開催されていたものを1会場にまとめることにより、予算の削減、効率的な運営に努めている。

また、平成22年度まで当日配布のパンフレットに掲載していた立志者の名簿を、平成23年度から掲載しなかったことで、保護者の方から「名前が出なくて嬉しい」といった声があり、好評を得ることができた。式典中に行った「立志の言葉」では、立志者の代表たちが堂々と発表しており、まさしく志を立てるのにふさわしいものであったと感じた。式典後の記念講演についても、講師である大山加奈さんの山あり谷ありの人生を聞くことは、勉強や部活動に日々取り組んでいる生徒にとって、非常に参考になるものだった。

○文化祭

文化祭事業は、発表部門と展示部門に分かれている。発表部門では、文化協会や市内小・中学校の児童・生徒、市内の自治公民館及びサークルが、日頃の練習の成果を発表している。文化祭で発表することを、発表団体の目標として設定することにより、団体間での連携が深まり、練習にも意欲的に取り組むことができる。

展示部門では、文化協会、地区公民館での開催教室、児童館、コミュニティセンターなどが、この日に向けて作品を製作しており、文化的な活動を推進するものとなっている。期間中に開催されているお茶席や体験教室、将棋大会では、参加者が体験することもできるので、見る以外の楽しさも含まれる事業となっている。

また、作品の展示や体験教室が、教室の宣伝効果となっている団体もあり、文化祭で講座や教室の存在を知った参加者もいる。

○意見

前年度の意見において述べたことではありますが、評価者は、公民館は、地域住民に対し学びの機会を提供する「公民の館（やかた）」であるとともに、行政や地域の各種団体・機関と地域住民との「間（あいだ）」に位置し、必要に応じて地域住民と行政とを結ぶ公民「間」、地域住民にひとや体験・自然等との出会いの場を提供しその「感性」を豊かにする公民「感」、社会のしくみや地域課題などの学びを通じて人生観や職業観などもの見方や考え方に影響を与える可能性を持つ公民「観」、地域住民に地域で生き、暮らし、働き、支え合いそして学び合う歓びを提供する公民「歓」、地域住民を強い絆で結び強固な環を形成することに寄与する公民「環」、魅力的で活力ある地域づくりの中核的な「幹（みき）」となる場、あるいは地域づくりの担い手、リーダー（幹）を育てる公民「幹」というようにとらえています。地区公民館もまた地域の町内レベルの「自治公民館」もそうした位置づけで事業や活動を推進していただければ、地域住民の絆やつながりづくりにより一層寄与することになるのではないのでしょうか。また、地区公民館は当該地域の自治公民館への情報提供や必要な助言等を行い、市民の生涯学習活動の裾野の拡がりにさらに尽力して下さるよう期待いたします。

成人式や立志式は人生の一つの区切りであるとともに、新たな自分のスタートの意味を持つ儀式です。実行委員会形式による成人式の企画・運営などは、実行委員をサービスの「受け手」から「与え手」の立場に転換させるとともに、大切な「若者育て」の機会、次代の「幹」育て、社会参画の機会となるものです。

また、総合文化祭事業も、市民の日頃の活動の発表、交流の機会であり、参加者の生きがいややりがいを育てる機会になるものであり、この事業もまた、新たな学習者を開拓する機会となるのではないのでしょうか。

4 社会教育施設の運営

◇市立図書館（117, 079 千円）

3 館（根上，寺井，辰口）連携して，図書館の運営方針に基づき，生涯学習の拠点として，地域に根ざした図書館づくりをめざす。

平成 24 年度の主な取組

- ◎図書館資料の充実・・・3 館の持ち味を生かした資料を収集する。
- ◎レファレンスサービスの充実・・・利用者や市民の調査，研究を援助する。
- ◎読書普及活動を推進する。
- ◎図書館利用拡大事業（700 千円）

図書館がより“本と人”，“人と人”，“人と知”が出会い，交流する場となることで能美市の暮らしやすさを向上できるという意図のもと，下記事業を昨年度に引き続き，企画実施する。

- ・根上図書館・・・ビジネス支援事業
高校生を対象とした就活講座の開催・ビジネス書の収集など
- ・寺井図書館・・・子育て支援事業
親子コンサート，子育て講座の開催
- ・辰口図書館・・・合格図書館
大人図書館（夜間開館），合格図書館（学習室開放）
子供向け企画（おばけやしき図書館）

◎利用状況（平成 25 年 3 月末統計）

- ・蔵書数 380, 293 冊
- ・登録者数 35, 369 人
- ・貸出者数 130, 173 人
- ・貸出冊数 537, 065 冊

評価

市立図書館

- ・図書館運営方針に基づき，予算の有効活用と 3 館の特色を生かしたバランスある資料収集に努めていく。
- ・「能美子ども読書活動推進計画」に沿って，年代に応じた読書活動の推進に努めている。活動内容としては，乳児へのブックスタート事業，保育園への出張おはなし会，小中学校への移動文庫やブックトーク等を実施し，各機関との連携を図っていく。
- ・図書館利用拡大事業への取り組み
根上図書館（ビジネス支援事業）
 - ・就職や専門学校進学希望の寺井高校生を対象に，職業選択の意識付けを目的とし

た就活講座を開催した。小松精練元総務部長 由田哲也氏による講演に、108名の参加。

- ・一般ビジネス書コーナーや高校生や大学生向け職業教育コーナー、子育て世代を対象にした就職活動関連本の書架を設置し、利用しやすい配架とした。
ビジネス書等を充実させたことにより、30代から40代の登録者が増加し、利用拡大につながっている。

寺井図書館（子育て支援事業）

- ・親子コンサート
親子をはじめ興味のある方を対象に、地域の子育てグループと協力し、絵本の読み聞かせとチェロの演奏をコラボレーションさせた「親子で楽しむおはなしコンサート」を実施した。親子合わせて85名の参加。
- ・子育て講座
保護者を対象に、地域の子育てグループと協力し、「多賀先生の子育て応援講座」と題し、芳寿記念病院小児科医 多賀千之医師による講座を、毎回テーマを変えて実施（年5回）。毎回参加される保護者もおり好評。

辰口図書館（合格図書館）

- ・合格図書館
12月下旬～3月初旬までの21日間（冬休み、土日）、2階研修室を学習室として開放。先端大学学生に支援員を依頼、自己の経験や意見をまとめたアドバイス集を合格図書館利用者に配布。延べ、68人の利用。
- ・大人図書館
10～11月の毎週水曜日、夜18時30分から20時30分まで臨時開館し、図書を使った自己学習できる環境を提供した。延べ71人の利用。
- ・子供向け企画（おばけやしき図書館）
夏の夜のおはなし会を企画し、こわい本を読みきかせるおはなし会のあと、児童書架を即席おばけやしきにし、来館した子どもたちにおばけやしきを体験。親子約100人の参加。

○意見

市内の根上、寺井、辰口の各市立図書館が、それぞれ「ビジネス支援」「子育て支援」「合格図書館」をメインにしながら、市民の皆さんに「ホン」を中心に事業展開し、その成果が自己評価として示されておりました。巷間、活字離れが指摘される中、改めて「活字」文化の提供拠点であるとともに、様々な知的情報提供拠点であることをふまえ、図書館活動の推進に取り組まれますよう期待します。

◇根上総合文化会館（79, 348千円）

能美市の文化交流拠点と位置付け、利用促進に向けたさまざまな事業を行っている。

特に日本で初めて可動音響庇を採用した本格的なシューボックス型の音楽ホール「タント」では、市、市教育委員会の主催事業をはじめさまざまな催し物が年間を通して開催されている。

利用状況（平成 24 年度）

年間利用件数	2, 388 件	（平成 23 年度	2, 537 件）
年間利用者数	135, 520 人	（平成 23 年度	127, 534 人）

評価

根上総合文化会館

市内外の企業、学校、生涯学習活動団体等から、会社説明会、展示・発表会、練習、講座を開催する際にご利用いただいている。

根上総合文化会館主催事業として、「熱狂の日」音楽祭、タント寄席、映画上映会、DRUM TAO、ラジオ深夜便のつどい等を開催し、文化交流を広く行っている。

平成 26 年度には開館 20 周年を迎えるにあたり、利用者の満足度が上がるような利用環境の向上、広報活動に努めていく。

意見

根上総合文化会館が、学習活動団体の利用だけではなく、学校や企業の利用に供され、それぞれの団体や機関の活動の支援に資していることは重要なことと思います。併せて、主催事業の企画にも創意工夫されておられることと存じますが、利用者のニーズを丁寧に把握し、それに真正面から応えることとなる事業活動の推進を期待いたします。

◇根上学習センター（30, 185 千円）

宇宙といん石をテーマとした「子ども宇宙科学室」、茶室「松海庵」、「国際交流サロン」のほか「根上図書館」を含めた様々な学習施設からなる生涯学習の複合施設として、幼児から高齢者までが集い、学習や交流を深めることを目的としている。

平成 24 年度の主な取組

児童・生徒の科学に対する興味、関心を高めるために主催事業について金沢大学名誉教授を指導顧問に、教職員、星の会、根上いん石に関係する皆様に委員になっていただき、企画運営について検討をいただき、それに基づき主催事業を実施している。

- 1 能美市は根上いん石が自動車に落下したところでもあり、小学 4 年生を対象とした星空といん石学習、中学 3 年生を対象としたいん石学習、プラネタリウムでの星空学習をとおしてはるか遠き宇宙を身近に感じて、ひとりでも多くの児童・生徒が宇宙に関心を持っていただけるように努めている。
- 2 おもしろ科学教室、ガリレオクラブを通じて科学への興味を持っていただき、ひいては学校教育の一助になればと、指導される先生方を中心に教室の運用に力を注いでいる。

また、プラネタリウムを使つての星空教室、当館の屋上での望遠鏡を使つての星空観察会は、わけ隔たりなく希望する方々を対象に、星の会の皆様に星空の解説をお願いして実施している。

- 3 また、夏休み期間にはサイエンスフェスタと銘うって小学校の先生方、大学の名誉教授による科学の実験、実演、根上いん石の展示、科学の遊び「ミニエクスプロラトリウム展」、おもしろサイエンスショーの実施により、子どもたちに科学をより身近に、楽しく感じてもらえるように努めている。

評価

子どもたちが科学への関心を高めていけるように、今後とも主催事業の企画運営に努力していきたいと思っている。

施設は市民の交流の場としての研修室、生涯学習の教室として使われています。今後とも施設の活用が十分に図られるよう努めていきたいと思っている。

○意見

様々な学習機能の複合施設としての根上学習センターですが、特に科学への関心を育てるための活動は、貴重なものと思われまふ。もちろん専門性を期待されるが故に、運営にも、何かとご苦労がおりかと思ひますが、地域人材の協力支援を得ながらその使命をよりいっそう果たしていただけるよう願っています。

◇根上青年の家（19, 891 千円）・・・H24 年度

青少年やその他の団体の集団宿泊訓練や共同学習の場として、規律ある活動を通して安全有為な人間教育を図る施設として多くの方々に利用されている。又ロシア、シェレホフ市との姉妹都市交流や、根上中学校と韓国培材中学校と姉妹校交流の場として、多くの市民に楽しまれている。

主催事業として、12月と2月の2回、ジュニア・チャレンジャー合宿を実施した。

平成 24 年度の主な取組

- 1 施設整備として、体育館屋根の改修事業を実施し、利用者が安全、安心して利用できるよう努めています。
- 2 来年度は地下タンク改修工事を実施し、利用者に安全で安心のある場を提供したい。
- 3 主催事業を実施し、(年2回)団体宿泊研修をとおして、子供達が楽しく交流し「想像力や協調性、思いやり」ある心を育て、また自主的な生活態度を身に付けてもらえるよう努めていきたい。

評価

子どもたちが「想像力や、協調性、思いやり」ある心を高めていけるように、今後とも

主催事業の企画運営に努力していきたいと思います。

施設は「集団宿泊訓練や、共同学習の場」として利用されている。
今後とも施設の活用が十分に図られるよう努めていきたいと思います。

○意見

青年の家は、青少年教育の施設として、これまで集団宿泊訓練を中心にしながら青少年の自主性や協調性を育成に努めてこられたことと思いますが、さらに事業内容の拡充に努められますことを願っています。

◇青少年ホーム（1, 202 千円）

各種講座やサークル活動の場として利用されている。

「佐々木守メモリアルルーム」には郷土出身の脚本家佐々木守さんの蔵書や遺品を常設展示している。

評価

勤労青少年ホーム

受講希望の多いパソコン講座の充実を図るとともに、軽運動室や音楽室を備えている施設の特色をいかし、各種サークル活動の拠点としての利用者拡大を図りたい。

○意見

勤労青少年ホームが、働く青少年の学習活動やサークル活動の支援を通じて青少年のつながりづくりや絆づくりに成果を上げてきたことを理解しているひとりではありますが、青少年の思いを把握しながら今後とも利用者の拡がりにご尽力賜りたいと考えます。

以上市内には、様々な社会教育施設が、それぞれ独自の役割を持つ施設として事業展開しておりますが、施設の間での事業や情報のより一層の連携・協力の可能性を追求し、強固なネットワーク化を図るとともに、市内の学校や教育委員会所管以外の施設とも連携しながら事業を展開されるよう期待いたします。

施策4 芸術・文化の振興

文化財の保護・活用・継承と文化活動の奨励等により、芸術と文化の薫り高いまちづくりに向けて、文化意識の高揚を図る。

1 文化財の保存と活用

平成24年度の主な取組

◇職員提案 能美古墳群活用推進事業（継続事業・2, 800 千円）

①史跡と花のコラボレーション

秋常山史跡公園（秋常山古墳群）の魅力さをさらに高め、観光資源としての積極的な誘客を目的として、園内及び周辺に四季折々の花を植える史跡と花のコラボレーション事業を平成 23 年度より行っている。昨年度は彼岸花 2,300 本、アジサイ 3,150 本、水仙 300 本などを地元市民や小学校、各種団体の参加により植えた。さらに地元秋常町、秋常町営農組合の協力を得て、隣接田 1ha に菜の花の栽培を始め、今年度の春に見事な満開を迎え、市内外より多くの見学者が訪れていた。菜の花の後はコスモスの栽培を始め、秋には満開の花が咲いた。開花期に新聞や地元ケーブルテレビで宣伝を行い、さらに開花期に合わせて“菜の花フェスタ”、“秋常山古墳まつり”を開催し、相乗的な効果を図った。

また、公園内に夏の花が少ないことから、秋常山 2 号墳に飾られている“朝顔形埴輪”にちなんで朝顔の花を地元のすみれ保育園園児と栽培した。

②菜の花フェスタの開催

5 月 13 日（日）に秋常山史跡公園を会場に能美市環境ネットワーク・NPO 法人エコ未来塾主催の“菜の花フェスタ in Nomi2012”を開催した。菜の花の植栽をイベント誘致に繋げ、相乗的な誘客効果を図るもので、環境をテーマとした様々なイベントとともに“古代のエコライフ”と称した火起こしや勾玉づくりなどの古代体験、能美古墳群ウォーキング、秋常山古墳群クイズラリーなども合わせて行った。来場者は約 1,000 人を数え、史跡公園が多くの人々で賑わっていた。

③秋常山古墳まつりの開催

9 月 23 日（日）に秋常山史跡公園を会場に“能美のまほろば 秋常山古墳まつり～灯りと音の夕べ”を開催。この祭りは、秋常山古墳群に眠る 1,600 年前の大王、巫女に秋の実りと収穫を感謝し、能美市の今後の繁栄を祈ることをテーマとしたもので、古代体験や各種イベントステージだけでなく、夕方から夜にかけて古墳を主題とした様々な催し物も行った。イベントのメインは、粟生小学校 6 年生を中心とする古墳儀礼の再現で、古墳時代の大王、武人、巫女、村人に扮した子どもたちが、夏休みに自分達で作った土器を用いて、当時行われたであろう古墳での儀礼を演じ、古墳に眠る大王に感謝の言葉を述べた。儀礼が終わった後、イベント参加者みんなで古墳に並べたエコキャンドル 1,000 個に点火し、古墳のライトアップを行った。陽が沈み暗くなった会場では、ライトアップされた古墳をバックに雅楽の演奏会が行われた。残念ながら途中で雨が降り中止となったが、約 1,000 名の参加のもと、春の賑わいとはまた異なる、古墳を中心に据えた幻想的で落ち着いたイベントとなった。

④ボランティアガイド養成講座

秋常山古墳群のガイドや古代体験など古墳に関わる人材の育成と体制づくりを目指して平成 23 年度よりボランティアガイドの養成を行っている。今年度は、9 名を対象に月 1 回の古墳学習講座や菜の花フェスタ、古墳まつり、学びフェスタなどでの古代体験コーナーの開催、春・秋の遠足シーズンには小学生への古墳ガイドなど様々な活動を行った。

◇西山古墳群保存整備事業（継続事業・2, 032 千円）

西山古墳群は今から約 1, 600 年前の古墳時代につくられた 18 基の円墳より成る古墳群である。能美古墳群の始まりと終わりを物語る重要な古墳群であることから、国史跡として後世へ保存継承すべく平成 19 年度から 22 年度にかけて発掘調査を実施し、調査成果をもとに史跡指定の協議を国・県と行ってきた。今年度は、指定範囲計画案に所在する土地や墓地の所有者調査を行い、地元町会および各所有者に史跡指定への同意を依頼し、史跡指定の意見具申書を国へ提出した。また、能美古墳群のこれまでの調査・保存・整備の歩みを一書にまとめた『能美古墳群－総括編』を刊行し、今後の能美古墳群保存整備事業の基礎資料とした。

◇湯屋古窯跡群発掘調査事業（新規事業・5, 700 千円）

湯屋古窯跡群は飛鳥時代の 7 世紀後半に操業した須恵器・瓦窯であり、これまでの調査で 5 基の窯が確認されている。なかでも B 支群 1 号窯は、須恵器と瓦を併焼した瓦陶兼業窯で、その瓦が国指定史跡 末松廃寺（野々市市）に供給されたことが明らかとなっており、白鳳期における古代寺院と密接に関わる生産遺跡として注目されている。また、その他の須恵器窯も以後 9 世紀にかけて能美丘陵上で展開される能美窯跡群の前半期に属するもので、当地域における古代窯業生産の様相を解明するうえで重要な窯跡として位置づけられる。

しかし、昭和 40 年代から窯が所在する丘陵部では開発が進められており、既に 3 基の窯が消滅している。今回、残された 2 基のうち B 支群 1 号窯について、過去の陶土採取による遺構の崩落が危ぶまれるとともに、地権者から崖面安全確保のための土採取が計画されたことから、緊急発掘調査を実施することとなった。

調査の結果、B 支群 1 号窯は長さ 8.2m、幅 1.9m を測る地下式の穴窯であることが判明した。現況の表土から最大で 3.5m もの地下深く掘り抜いて造られたもので、床面には最後の焼成で焼き損じた瓦片が多数残されていた。

評価

【能美古墳群活用推進事業】

- ・平成 23 年度に植えた花々が今年度に開花を迎え、テレビ・新聞等にとりあげられたことで市内外から多くの見学者が訪れる宣伝効果を生み出した。
- ・さらに開花期に合わせてイベントを実施したことで、相乗的な宣伝、誘客効果をあげることができ、秋常山古墳群の周知と活用が図られた。
- ・花の植栽、イベントの開催に地元住民をはじめ、各種ボランティア団体、市内小学校など多くの市民が携わったことで、史跡への理解と愛着を深める機会となった。
- ・今後の課題としては、市外からの誘客効果をさらに高めるため、インターネットの活用などより幅広い層、地域を対象とした宣伝を行う必要がある。
- ・また、一過性的な効果とならぬよう継続的に事業を行う必要がある。

【西山古墳群保存整備事業】

- ・ 史跡指定の協力依頼をするなかで、地元町会、土地所有者に西山古墳群の重要性を知ってもらうことができ、文化財への理解を深める機会となった。
- ・ 今後の課題としては、文化財を保護活用し、後世へ継承するための具体的な方針、方法を検討する必要がある。

【湯屋古窯跡群発掘調査事業】

- ・ 文化財の詳細な調査を行い、貴重なデータを得ることができた。
- ・ 調査成果や文化財の歴史的意義を広く公開、普及する機会を設ける必要がある。

○意見

能美古墳群活用促進事業による秋常山史跡公園（秋常山古墳群）における、史跡と花のコラボ、菜の花フェスタ、古墳まつりなどの開催は、市民のみならず広く古墳群の価値を知らしめ、いにしえに思いをはせるとともに、歴史の思いを感じさせる取り組みになったことと思います。併せて、継続事業としての西山古墳群の保存整備、新規事業としての湯屋古窯跡群発掘調査事業も調査・研究を通じて当該古墳の歴史的、文化的、学術的価値を様々な方法で発信してくださることを期待します。

文化財は、市民共有の財産であり、能美市の「価値あるもの」であることに鑑み、関係省庁及び地元の理解と協力を得ながら整備・保存にご尽力ください。

また、多様な市民の学習成果を発揮する場として、市民ボランティアによる文化財解説、古墳群解説、古墳群維持など市民参加を奨励されますよう期待します。

なお、文化財は、文化・教育資産としての側面と観光資産・資源としての側面を合わせて有している場合があります、引き続き市の企画担当課や観光交流担当課等とも連携しながら、その発信についても検討していただきたいと考えます。

2 博物館の活動

◇展示・教育普及事業 2, 049 千円

①ギャラリー

月	展観名	開催期間		来場者人数
4	山近剛 ハニワ展 古代に倣う手仕事	4月 6日 (金)	4月15日(日)	784
4	原田純子 デコアート倶楽部展	4月21日 (土)	4月29日(日)	497
5	松村芳明・昌子 絵・陶 「これから」展	5月16日 (水)	5月27日(日)	858
6	辰口絵画クラブ展 「辰口の風」	6月 1日 (金)	6月14日(木)	525

6	能美市美術作家協会絵画部 第13回 N展	6月17日(日)	6月30日(日)	505
7	上出慎也 イラストの仕事3 「ごきんぢょさんと のみあるき」展	7月7日(土)	7月15日(日)	414
7~8	夏季特別展 「彫刻家 谷村俊英の世界」展	7月21日(土)	8月26日(日)	1, 410
9	辰口水墨画展	9月1日(土)	9月16日(日)	446
9	石川美術会 秋の小品展	9月19日(水)	9月30日(日)	544
10	北國写真連盟小松・能美支部展	10月2日(火)	10月14日(日)	392
10~11	秋季特別展 「時代を拓いた能美の人々」	10月20日(土)	11月18日(日)	900
10~12	虎井誠 光画展 「スカイツリーの街」	11月23日(金)	12月16日(日)	540
1	坂本克麿 水彩画展	1月12日(土)	1月27日(日)	1, 096
2	辰口写楽会展 2012	2月3日(日)	2月17日(日)	662
2~3	辰口押し花教室 合同作品展示展	2月20日(水)	3月10日(日)	773
3	第5回「能美市を写そう」 写真コンクール展	3月15日(金)	3月28日(木)	561

10, 904名

②ふるさと講座「集落に密着したふるさと」 対象：一般

回	期 日	テ ー マ	参加者
第1回	5月20日(日)	芝敷山即得寺と板屋兵四郎 講師：山崎 勇	20
第2回	7月15日(日)	宮竹の古名「宮瀧」について 講師：安田 進	25
第3回	9月9日(日)	古地図で見る能美の集落 講師：島崎 透	24
第4回	10月21日(日)	浜開発村と初代根上村長中山庄右衛門 講師：石川 友之	22

91名

③博物館講座・野外体験など

講座名	期 日	講 師	参加者
三陸紀行 未来に伝える 東日本大震災の記憶	4月19日(木)	石川県歴史博物館学芸主幹 本谷 文雄	50
自然観察会 「能美の野鳥を楽しもう」	4月第2土曜日 10回	日本野鳥の会石川支部 高 剋滋・高 文子	135
能美市でホタルを見よう ホタルの話と観察会	6月30日(土)	石川むしの会 石川 卓弥	120
革細工教室 手帳カバーを作ろう	7月11日(水)	イラストレーター 上出 慎也	10
俊英と語る「芸術談義」	7月21日(土) 8月11日(土)	彫刻家 谷村 俊英	53
木工体験 飾り棚をつくろう	8月 8日(金)	中 正次, 久保出 寛之	30
鈴木紀子脚本 「チョコレートと兵隊」	10月27日(日)	映画上映	168
加賀耿二 「その作品と人物について」	10月28日(日)	金沢学院大学教授 水洞幸夫	30
伝説の脚本家 鈴木紀子の生涯	10月28日(日)	京都学園大学教授 堀田穰	85
のまりんの紙芝居公演 鈴木紀子国策紙芝居	10月23日(日)	野間 成之・毛利久美子	110
「ぐい呑みから環境造形まで」	2月 4日(月)	芸術院会員 武腰 敏昭	50
キノコの植菌体験	3月10日(日)	能美の里山ファン倶楽部 会員 ほか	30

871名

④団体見学

社会見学

「火おこし体験 6年生」	寺井小 108名, 宮竹小 27名, 辰口中央小 118名	計 253名
「むかしの道具 3年生」	能美市・白山市の小学校 24クラス	計 702名

⑤博物館友の会

講演会 2回 石川県立歴史博物館 学芸主幹 本谷文雄氏 50名,
芸術院会員 武腰敏昭氏 50名

研修会 2回 6月5日 岐阜方面 光美術館と千光寺 34名
10月30日～31日神戸・京都方面
神戸市立博物館, 京都市美術館, 妙心寺 28名

ボランティア活動 天然記念物「蟹淵」整備及びモリアオカエルの卵塊調査
桜フェスティバル, 菜の花フェスタ, 古墳まつりのスタッフ
企画展示時の巡視員

のみでん桜フェスティバル

期 日:4月15日(日)

内 容:のみでん広場, 辰口保育園を会場に

健康ロード桜ウォーキング

人形劇・マジックショー, ウルトラマンショー

加賀おしずし研究会など地元食材の青空市

福島県須加川市の物産市

◇調査・収集・記録事業 525千円

① 生物生息調査

調査報告書「能美市ほにゅう類図鑑」の発行

その他

①博物館実習生の受け入れ

期 間:8月3日(金)～8月11日(土)

実習生:金沢学院大学文学部4回生 1名

◇博物館改修事業 819千円

① ギャラリーのスポットライトのLED化 60基導入

年間300千円の電気料金削減

評価

地域の博物館としてどのようにあるべきかという命題に対して, 本年は能美市の人物にスポットをあてるべく郷土の先人の業績を紹介する企画展を実施したことは, その職責を僅かでも果たすことができ, それに伴う資料収集も充実したものとなった。特に, 女性脚

本家として活躍した鈴木紀子に関しては、戦後 2 度目となる上映会が実現し、さらに国内の大学関係者により相次いで論文が発表されるなど、学術的な裏づけができたことは大きな成果となった。

ただし、本年度の展示事業は子どもを軸にした展示ではなかったため、特に夏休みや連休中などの入館者数が振るわなかった面もある。次年度は特に“地域の子どもが親しめる展示”を意識しつつ、ふるさと教育に努めていきたいと考えている。

また、これまで数カ年にわたって実施してきた生物生息調査は、本年のは乳類調査の成果報告をもって、ひとつの区切りとすることができた。“海・山・川の恵み”が豊かな能美市の生態系が如実に現れた結果であり、今後はその文化財としての保護策を講じつつ、普及活動を行っていく必要がある。

施設維持管理に関しては、ギャラリー展示室の照明のLED化を進めるなどの対応を行い、経費面において大きな削減を図ることができました。これは高熱水費に関して言えば昨年度比5%の削減率で、エネルギー政策の転換も問われるなかで適切な対応といえる。

○意見

博物館は、施設の設備面での課題があり、館活動上、一定の制約があるように見受けられますが、地域住民に社会教育的影響を与える教育の機関として、様々な工夫をしながらその機能を発揮しているように思われます。自己評価に、知的好奇心あふれる子どもを対象にした展示活動が十分ではなかったという趣旨の表記がありますが、子どものニーズを適切に把握しながら社会教育としての博物館事業とのマッチングを考慮して、今後ともより創造的な博物館活動の推進を願っています。

「博物館友の会」の活動に見られるように、住民の学びの成果を発表する機会の提供、講師や解説員として協力していただく参加型の企画、のみでん広場の活用などの事業も博物館をより市民に親しまれるものとする上で効果的であったと思います。

さらに環境問題に関する理解の促進、能美市の産業振興、地域振興や観光振興に寄与する企画、市内のいしかわ動物園等との連携事業など、地域文化や生涯学習・社会教育の中核的拠点としての機能の発揮が今後とも期待されます。

3 文化振興

平成 24 年度の主な取組

◇文化連盟・協会（4, 200 千円）

文化活動を行う各種団体相互の連絡を図り、相提携して文化向上に寄与することを目的とする。加盟協会は計 38 協会。

◇民俗芸能保存伝承（720 千円）

郷土芸能の保存・伝承に取り組むことにより、後継者の養成、地域社会の活性化、世

代間交流の回復に寄与することを目的とする。保存会は計 14 団体。

◇第 21 回能美川柳大会兼第 19 回市民川柳大会 (1, 190 千円)

日 時 7 月 7 日 (土) 11:00~16:00

会 場 能美市根上総合文化会館 音楽ホール「タント」

内 容 第 21 回能美川柳大会

第 19 回市民川柳大会 (小学生・中学生・一般の部の 3 部門)

投句数 能美川柳大会 5, 380 句 (内当日 140 句)

市民川柳大会 7, 926 句 (2 宿題の合計)

受賞者

□市民川柳大会の部

○事前投句課題「机」の部

特選

- | | | |
|----------------|-------|-------|
| ・ありがとう心をこめて机ふく | 浜小6年 | 毎田 朱李 |
| ・さあやるぞ机に向かう受験生 | 寺井中3年 | 善田 陸志 |
| ・無造作に秘密が積んである机 | 寺井町 | 隅田 外男 |

○事前投句課題「風」の部

特選

- | | | |
|------------------|-------|--------|
| ・ぼくは風いつも元気にふいている | 浜小6年 | 山本 佳奈 |
| ・ぼくは風いつも世界を旅してる | 根上中1年 | 中田 隼也人 |
| ・清貧に生きて冷たい風当たり | 寺井町 | 北村 美紀子 |

□能美川柳大会の部

事前投句課題 雑詠／任せる／内

当日投句課題 宅／安い

能美川柳会 会長賞

- | | | |
|---------------|-----|-------|
| ・九条に安く見られてきた命 | 福井県 | 石谷 恵子 |
|---------------|-----|-------|

能美市文化協会 会長賞

- | | | |
|-----------------|-----|-------|
| ・母さんが帰りがかった自宅だよ | 石川県 | 川中 陽子 |
|-----------------|-----|-------|

北國新聞社 社長賞

- | | | |
|------------------|-----|------|
| ・ジョーカーが手の内にある安堵感 | 香川県 | 田岡 弘 |
|------------------|-----|------|

石川県川柳協会 会長賞

- | | | |
|--------------|-----|-------|
| ・宅配の包みは母の子守唄 | 福井県 | 高木 一男 |
|--------------|-----|-------|

全日本川柳協会 会長賞

- | | | |
|----------------|-----|--------|
| ・内戦が続いて鳩が逃げまどう | 愛媛県 | 稲井 たつを |
|----------------|-----|--------|

能美市議会 議長賞		
・内面は見せず女の細い眉	石川県	山村 恵子
石川県教育委員会 教育長賞		
・コンパスの内を出たがる好奇心	長野県	小林 昭男
石川県知事賞		
・深呼吸わたしを少し入れ替える	福岡県	金子 節子
NHK 金沢放送局長賞		
・猫の手も神の手もいる一大事	石川県	遠田 亀公子
能美市教育委員会 教育長賞		
・風を読み風を信じる風媒花	兵庫県	村岡 義博
能美市長賞		
・ミシュランの星を仰いで缶ビール	富山県	金子 千枝子
大会大賞（当日投句）		
・安らぎを貰うひと間という自宅	石川県	中川 洋子
大会大賞（事前投句）		
・一本のザイル絶望などしない	長崎県	平井 翔子
・この位置でいいのですかと影法師	香川県	福田 綾美

評価

・文化連盟・協会への補助を行うことで経済基盤が脆弱な団体の活動が活発になり、文化祭や美術展、発表会などで市民に成果を発表し、市民の文化意識が向上している。

小中学生対象に年 2 回行っている席書大会や、市民からの作品を募集して発刊する文芸能美など、連盟・協会員以外の方が参加できる機会をもうけることにより、市全体の文化発展に寄与している。

・民俗芸能保存会への補助を行うことで、教室や練習会を開催し、研鑽した日頃の成果を能美市の祭りやイベントなどで積極的に披露することができ、伝統文化を守り伝えていく。

・能美川柳大会は、全国から参加者を募集するので、石川県外の方々に能美市をPRする良い機会となっている。現在は、投句用紙に「能美市のご案内」と称し、能美市の観光スポットを紹介している。しかしながら、大会参加者が減少し、開催内容の見直しが必要とされている。観光面も視野に入れ、若者も参加しやすい大会運営を検討する必要がある。

・市民川柳大会は、学校に協力を仰ぐことで、小学生、中学生も川柳を投句している。多感な時期に、日本の文化に触れることにより、将来的な能美市の文化振興につながってほしいと考える。

意見

市の文化団体への補助金交付による活動支援は、当該団体の活動基盤を強化することになることは論を俟ちません。そうした団体等の活動が市内に、そして市民の間に文化的雰

困気を醸し出していることは紛れのないことであります。

長い歴史と伝統の継承により広がっている能美市の川柳大会は、川柳の魅力を市の内外へと発信するものとなっています。寄せられた句の一つ一つに様々な思いが込められ、評価者も共感を覚えるものばかりです。このような市民レベルの思い、つぶやきにも似た感性の表出の機会は貴重です。「川柳のまち能美市」を内外によりいっそうアピールしてください。

施策5 生涯スポーツの推進

市民の運動やスポーツのニーズに応じて、障がいを持たれた方も含む、市民一人ひとりが自己の生活や目的にあった、一生涯スポーツに親しんでいく運動やスポーツ活動を取り入れたライフスタイルの構築を図るために、誰もがスポーツやレクリエーションなどの運動に親しめる、安全で効果的に活動できるスポーツの環境づくりを積極的に進めた。

1 競技スポーツの充実・強化

平成24年度の主な取組

◇県民体育大会への選手派遣（5, 538千円）

志賀町を主会場に中能登地区1市2町を中心に開催された県民のスポーツの祭典である「石川県民体育大会」に能美市を代表して参加する選手を派遣し上位入賞するための補助を行った。

◇能美市民体育大会（1, 158千円）

広く市民の間にスポーツを振興し、スポーツ精神の高揚と選手の発掘と育成強化を図ることを目的に、6月を中心に市内各施設を利用して開催され、今年度は20競技が開催されその運営補助を行った。

◇全日本競歩能美大会（10, 388千円）

アジア最高峰の大会である「アジア陸上競技選手権大会 20km競歩」を兼ねるとともに、「第7回日本学生20km競歩選手権大会」を併催し、また今年は世界選手権、ユニバーシアードの開催年であり、それぞれ「第14回世界陸上競技選手権大会（2013/モスクワ）日本代表選手選考競技会」、「第27回ユニバーシアード競技大会（2013/カザン）日本代表選手選考競技会」にも位置付けられた大会に8部門計341名のエントリーのもと開催された大会の運営費として補助を行った。

期 日 平成25年3月10日（日）

場 所 能美市営20km公認（2km周回）コース

◇第55回全国銃剣道能美大会（1, 550千円）

銃剣道競技の地方で開催される唯一の全国大会として、例年全国各地の精鋭が集まる大会である。今回は、東日本大震災の復興活動のため2年ぶりに開催された。

第 55 回記念大会として陸上自衛隊第 10 音楽隊と地元 3 中学校吹奏楽部との合同演奏会が開催されるなど、スポーツを超えた交流も図られた。

評価

県民体育大会への選手派遣及び市民体育大会については、競技力の向上強化や市民のスポーツ競技への関心と振興を図るためのその運営費として、能美市体育協会へ補助金として交付しているものである。県民体育大会の成績では、男子総合 6 位、女子総合 5 位で、安定的に 6 位入賞圏内を維持する結果となり、今後の練習への励みに繋がったところであり、今後もその運営に体育協会が引続き活動できるよう連携・支援を行う必要がある。

全日本競歩能美大会及び全国銃剣道大会は全国大会でありながら特殊性のある競技でもあることから、馴染みの薄い競技ではあるものの競歩大会はアジア選手権を兼ねる大会でもあり年々選手の参加数の増加やレベルも非常に高いものになってきたと共に、選手や大会関係者からは能美市の応接について好評を得るなど、能美市の知名度アップに大きく貢献しているが、全国各地から選手が集う大会でありながら、応援を含め市民の関わりが非常に薄いため、市民が大会に関われる仕組みづくりや競技の周知方法が検討課題である。

〇意見

県民体育大会や市民体育大会は、スポーツ活動に携わる方にとって、日頃行っている練習の成果を発揮する機会であり、併せて「能美市」を発信する機会となるものでもあります。さらに大会への参加や開催に向けた支援は、選手層の拡がりやスポーツの普及や振興に寄与する面もあることから、今後とも継続的な取り組みを期待いたします。

全日本競歩大会、銃剣道大会は、能美市にしっかりと定着した大会ではありますが、市民の中では、これらへの係わり度合いが、今ひとつという状況であるという自己評価ですが、「競歩のルール」、「銃剣道の魅力」というテーマでの講座を開設するなど、その基本について学ぶ機会が市民向けに提供されるのも認知度を高めることにならないでしょうか。また、中学校の体育の「武道」に短時間でも銃剣道の基本や心得を指南する機会を設けてはいかがでしょうか。

2 生涯スポーツの普及・振興

平成 24 年度の主な取組

◇ジュニアスポーツクラブ活動 (5, 145 千円)

スポーツを通して健全な青少年の育成を図るとともに、各競技の技術力の向上及び底辺の拡大を図るため、市内 45 クラブの活動を支援している。

また、各クラブ間の連携、交流や親睦を図るためのリーダー研修やスポーツ交流大会を開催、指導力の向上を目的に指導者研修会を開催し、クラブ全体の円滑な運営を図っている。

◇高齢者健康クラブ活動（959千円）

運動の機会の少なくなる高齢者の方々に健康、体力保持を目的として開催する教室であり、市内3クラブ約186名の高齢者が3会場に分かれ、ダンスや体操を行っている。県の交歓大会や普及育成会等に参加する等、3クラブはもとより市外の健康クラブとも交流を図っている。

◇スポーツ教室「からだバランス塾」（5,090千円）

スポーツを定期的に実施する機会を提供し、スポーツをライフスタイルに取り入れることにより、体力の向上、精神的ストレスの発散や生活習慣病の予防など、心身の両面にわたる健康保持増進を図ることを目的として、エアロビクス、ヨガやタヒチアンダンスなど様々な教室を前期後期に分け一年をとおしたプログラム実施している。

前期（4月～9月）13教室 延べ370名参加

後期（10月～3月）13教室 延べ401名参加

評価

ジュニアスポーツクラブ活動については、45クラブへの助成金による支援を中心に実施しているが、クラブによっては規模、活動時間数や指導者の人数及び質等が様々であることから助成金の使用用途が適切であるか検証する必要があるものと思われる。

高齢者健康クラブ活動及びスポーツ教室「からだバランス塾」についてはともに参加される方が固定化しつつある。高齢者クラブについては運動の継続性が大切であることから固定化することには問題がないが、会員増加が見られないことに対してその理由を調査する必要があると思われる。

「からだバランス塾」は新たなエクササイズやダンスを積極的に取入れ、市民への機会提供に努めることにより定員数を上回る参加希望を得ることができた。ただ所期の目的を達した教室については、参加者の希望があれば今後サークル化し自主的に運営できるような手立てを講じ、運動の継続化と参加者固定化の改善に対応する必要がある。

今後もそれぞれの活動が、地域に根ざしたクラブとして活動できるよう連携・支援を行う必要があり、子どもから高齢者までのニーズの把握や周知方法などの検討課題もある。

〇意見

子どもから高齢者にいたる多くの市民が、生涯にわたって自分なりに親しむことのできるスポーツを持つことができることは、生きがいきり、健康・体力づくり、生涯スポーツの普及・振興につながるものです。

ジュニアスポーツクラブの交流促進、研修会開催等への支援、高齢者健康クラブ活動への支援、さらにはスポーツ教室「からだバランス塾」の通年での開催など、今後とも生涯スポーツの裾野の拡がりに取り組みされるよう願っています。

なお、助成を受けている団体においては、その原資（助成金）の源は、市民の浄財である、という認識を持つ必要があります。その意味においても、経費の執行においては、適

正・適切かつ効果的に行わなければならないという高度な自律性が求められます。

各団体に補助金の性格や意義についての理解を求めるとともに、最少の経費で最大の効果をめざすことを改めて認識していただく機会を個別的にでも設ける取り組みに着手することを提起いたします。

3 スポーツ施設の整備充実

平成 24 年度の主な取組

◇能美市岩内体育館改修工事（建築）

- ・耐震改修工 N=一式
- ・屋根改修工 A=1, 965 m²
- ・機械設備改修工 N=一式

◇能美市岩内体育館改修工事（電気）

- ・LED照明設置 N=46個
- ・LEDダウンライト設置 N=23個
- ・防災設備改修 N=一式
- ・分電盤改修 N=一式
- ・外部電灯設置 N=4箇所
- ・撤去工 N=一式

◇能美市根上ソフトボール場トイレ設置工事

- ・鉄筋コンクリート造 平屋建て 建築面積 A=13.92 m²
- ・電気設備工 N=一式
- ・給排水衛生設備工 N=一式

◇能美市内体育館コートライン改修工事

- ・根上体育館 N=2面
- ・根上勤労者体育センター N=3面
- ・寺井体育館 N=2面
- ・泉台スポーツセンター N=1面
- ・物見山総合体育館 N=2面
- ・岩内体育館 N=1面
- 計 11面

◇泉台スポーツセンター天井パネル改修工事

- ・天井パネル張替え工 N=30枚

◇泉台運動公園駐車場整備工事

- ・既存フェンス撤去工 L=188m
- ・上層路盤工 A=2, 068 m²
- ・表層工 A=2, 270 m²
- ・区画線設置工 L=973m
- ・U型側溝据付工 L=107m

◇根上地区体育施設電気設備改修工事

- ・体育施設電気設備改修工 N=一式

(根上野球場・根上勤労者体育センター・道林寺テニスコート・翠ヶ丘運動公園)

◇物見山総合体育館アリーナ換気扇改修工事

- ・送風機交換 N=4 台
- ・電磁開閉器交換 N=一式

◇福岡地区市民体育館照明設備改修工事

- ・メタルハライドランプ400W交換 N=20個
- ・安定器交換400W用 N=20個
- ・メタルハライドランプ300W交換 N=3 個
- ・安定器交換300W用 N=3 個

◇和気小学校夜間照明設備改修工事

- ・分電盤 L-2 内部機器・回路一式, 配線等取替 N=一式
- ・分電盤 L-3 内部機器・回路, 配線取替 N=一式
- ・分電盤 L-4 内部機器・回路, 配線取替 N=一式
- ・コイン式照明自動点灯盤取替 N=一式

◇根上ふれあいプール天井パネル改修工事

- ・既設天井パネル撤去 A=90.4 m²
- ・天井パネル新設復旧 A=90.4 m²

◇その他 全 14 件の工事实施

◎改修工事費総額 145, 844 千円

評価

能美市岩内体育館は改修工事により、市では初めてのフロア全面にLED照明を設置し、電気料金の減少が見込まれるとともに、耐震改修工事を施工したことから、市の指定避難所としても安全性が増加した。

施設統廃合計画による泉台テニスコートの廃止に伴い、テニスコートを駐車場に整備したことにより、これまで駐車場が少なく周辺に路上駐車をしていた泉台ソフトボール場の利便性が向上した。

今まで仮設トイレしか無く、不便であった根上ソフトボール場に多目的トイレを整備したことにより、施設利用者の利便性が向上するものと思われる。

各施設において経年劣化による破損修繕及び改修が必要となっており随時計画的に修理していく必要がある。

施設の修繕や改修工事においては競技スポーツに限らず、市民の生涯スポーツへの支援も含め、安全で快適に利用できる施設整備を図っている。

〇意見

周知のように、公の施設は、設置から廃止までの間は「管理」されなければなりません。改修、撤去、整備などが必要に応じてなされなければなりません。そのことにより利用

者の利便性を図ったり，安全確保の水準を向上させたり，効率的な運営が可能となったりするなどの効果が期待されますので，今後ともスポーツに親しむことのできる施設設備の整備に意を傾注されますことを期待します。

教育委員会会議及び教育委員の主な活動

1. 教育委員会会議

13 回開催 （開催日及び審議決定事項 次頁）

{ 議案 20 件 }

2 教育委員の主な活動（大会ほか各種行事など）

月	日	内 容
H24.	4. 1	事務局職員辞令伝達式
H24.	4. 5	市内小学校・中学校入学式
H24.	4. 6	第 6 回市教育委員会会議
H24.	4. 6	転入教職員辞令交付式並びに着任式
H24.	4. 6	物見山陸上競技場竣工式
H24.	4. 15	のみでん桜まつり
H24.	4. 23	青少年問題協議会
H24.	4. 24	石川県市町教育委員会連合会理事会（金沢市）
H24.	4. 26	市青少年健全育成センター運営協議会
H24.	4. 27	市体育協会総会
H24.	5. 1	「熱狂の日」音楽祭 2012in 能美
H24.	5. 11	石川県市町教育委員会連合会定期総会（金沢市）
H24.	5. 11	第 7 回市教育委員会会議
H24.	5. 29	寺井小学校計画訪問
H24.	5. 30	寺井中学校計画訪問
H24.	6. 1	第 8 回市民体育大会総合開会式
H24.	6. 6	福岡小学校計画訪問
H24.	6. 8	第 8 回市教育委員会会議
H24.	6. 10	第 55 回全国銃剣道能美大会
H24.	6. 11	根上中学校計画訪問
H24.	6. 14	辰口中央小学校計画訪問
H24.	6. 19	宮竹小学校計画訪問
H24.	6. 25	湯野小学校計画訪問
H24.	7. 7	NHK 学園能美川柳大会・市民川柳大会
H24.	7. 10	辰口中学校計画訪問

H24. 7. 11～16	シェレホフ市少年親善使節団受入
H24. 7. 14	根上グリーンビーチ海開き（安全祈願祭）
H24. 7. 24	学校教育懇談（根上中学校）
H24. 7. 25	学校教育懇談（辰口中央小学校） 石川県市町教育委員会セミナー（金沢市）
H24. 7. 26	第9回市教育委員会会議
H24. 7. 27	学校教育懇談（浜小学校・福岡小学校）
H24. 7. 30～8. 8	能美市少年親善使節団シェレホフ市派遣
H24. 7. 31	学校教育懇談（宮竹小学校）
H24. 8. 3	学校教育懇談（寺井中学校）
H24. 8. 6	学校教育懇談（辰口中学校・粟生小学校）
H24. 8. 10	根上中・韓国培材中姉妹校交流40周年記念式典
H24. 8. 11・12	第64回県民体育大会夏季大会（志賀町中心）
H24. 8. 20	第10回市教育委員会会議
H24. 8. 27	学校教育懇談（寺井小学校・和気小学校）
H24. 8. 29	学校教育懇談（湯野小学校）
H24. 9. 1	第31回加賀地区中学生意見発表大会（主催）
H24. 9. 3～7	あいさつ運動強化週間
H24. 9. 4	第64回県民体育大会夏季大会・能美市選手団解団式
H24. 9. 25	第11回市教育委員会会議
H24. 10. 12	石川県市町教育委員会連合会研究大会（宝達志水町）
H24. 10. 17	粟生小学校計画訪問
H24. 10. 23	和気小学校計画訪問
H24. 10. 25	第12回市教育委員会会議
H24. 10. 28	第7回能美市小学校対抗サッカー大会
H24. 10. 29	能美市総合文化祭（ジュニア文化発表会）
H24. 10. 30	加南地区教育委員会連絡協議会研究大会（小松市）
H24. 11. 2	浜小学校計画訪問
H24. 11. 2～4	能美市総合文化祭
H24. 11. 22	第13回市教育委員会会議
H24. 11. 22～26	第5回子どもマイスターウィーク
H24. 11. 23	第5回子どもマイスター賞表彰式
H24. 11. 25	市ジュニアスポーツクラブ交流大会
H24. 12. 27	第14回市教育委員会会議
H25. 1. 13	能美市成人式
H25. 1. 25	第1回市教育委員会会議

H25. 2. 5	石川縣市町新任教育委員研修
H25. 2. 13	立志式及び講演会（大山 加奈氏）
H25. 2. 21	第2回市教育委員会会議
H25. 2. 22	市体育協会表彰授与式
H25. 2. 24	能美まなびフェスタ 2013
H25. 3. 6	第1回能美市議会定例会
H25. 3. 9	市内中学校卒業式
H25. 3. 10	第37回全日本競歩能美大会
H25. 3. 15	市内小学校卒業式
H25. 3. 18	第1回能美市議会定例会
H25. 3. 19	第1回能美市議会定例会 第3回市教育委員会会議
H25. 3. 25	第4回市教育委員会会議
H25. 3. 27	第1回能美市議会定例会
H25. 3. 28	教職員離任式

平成24年度教育委員会会議開催状況

回（開催日）	審議決定事項
平成24年第6回 （H24. 4. 6）	報告第1号 専決処分の報告について 能美市文化財新指定について 報告事項 ・能美市教育行政の基本方針について ・教育委員会事務局各課事務分担について
平成24年第7回 （H24. 5. 11）	議案第10号 平成24年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について 議案第11号 能美市社会教育委員の補充について 報告第2号 能美市博物館協議会委員の補充について 報告第3号 能美市図書館協議会委員の補充について 報告第4号 能美市立辰口学校給食センター運営委員の補充について 報告事項 ・ロシアシェレホフ市少年親善使節団受入について ・平成24年度フォローアップスクールについて ・菜の花フェスタについて ・スポーツフェスティバル in ねあがりについて

<p>平成 24 年第 8 回 (H24. 6. 8)</p>	<p>議案第 12 号 平成 24 年度能美市一般会計の教育関係補正予算の 要求について</p> <p>議案第 13 号 平成 24 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認 定について</p> <p>報告第 5 号 能美市立辰口学校給食センター運営委員の補充に ついて</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 寺井中学校大規模改造工事について ・ 平成 24 年度能美市姉妹都市交流事業について ・ 学校計画訪問及び学校教育懇談について ・ ほたる観賞会について ・ NHK 学園能美川柳大会・市民川柳大会について ・ 夏休みわくわく教室, 第 8 回サイエンスフェスタ能美 2012 に ついて ・ 第 8 回市民体育大会開会式について ・ 東レアローズバレーボール教室について
<p>平成 24 年第 9 回 (H24. 7. 26)</p>	<p>議案第 14 号 能美市立学校管理運営規則の一部を改正する規則に ついて</p> <p>議案第 15 号 平成 24 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認 定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 24 年度能美市姉妹都市交流事業について ・ 平成 24 年度能美市姉妹校交流事業概要について ・ 平成 24 年度石川県中学校総合体育大会成績及び北信越大会・ 全国大会出場者について ・ 吹奏楽各種大会について ・ 能美市民川柳大会及びNHK 学園川柳大会受賞作品一覧及び 市民川柳大会申込一覧について ・ 市立博物館夏季特別展「彫刻家 谷村俊英の世界」について ・ 第 25 回 J A P A N T E N T 能美市プログラムについて ・ 根上グリーンビーチ海開き並びに渚のフェスティバルについて ・ 第 64 回県民体育大会選手結団式について ・ ロンドンオリンピック競技鈴木雄介・小堀勇氣選手出場時間 について

	<ul style="list-style-type: none"> ・第 63 回石川県民体育大会夏季大会について ・ヒッグス粒子研究チームリーダーの浅井祥仁准教授の講演会 開催検討について <p>【教育委員からの意見・提言】</p> <p>大津市のいじめ自殺事件報道に伴う, 教育委員会の対応と委員としての責務</p>
<p>平成 24 年第 10 回 (H24. 8. 20)</p>	<p>議案第 16 号 平成 24 年度能美市一般会計の教育関係 9 月補正予算の要求について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校運動会日程について ・北信越総合体育大会及び全国大会について ・第 31 回加賀地区中生意見発表大会について ・秋常山古墳まつりについて ・ロンドンオリンピック競技会出場の鈴木。小堀選手の成績について ・石川県民体育大会夏季大会の成績並びに能美市選手団解団式について ・のみ古墳古代ロマンウォーク（元気カップ石川まるごとウォーク能美市大会）について
<p>平成 24 年第 11 回 (H24. 9. 25)</p>	<p>議案第 17 号 平成 24 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石川県市町教育委員会連合会研究大会について ・加南地区教育委員会連絡協議会研究大会について ・学校計画訪問（2 学期）・研究発表会について ・加賀地区中生意見発表大会成績について ・スポーツフェスティバル in てらい, in たつのくちについて ・寺井地区公民館主催事業について ・能美市ファミリーコンサートについて ・のみ古墳古代ロマンウォーク（元気カップ石川まるごとウォーク能美市大会）開催結果について <p>【教育委員からの意見・提言】</p> <p>運動会を参観しての感想で生徒の準備体操の基礎指導を徹底するよう要望</p>

<p>平成 24 年第 12 回 (H24. 10. 25)</p>	<p>議案第 18 号 平成 24 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもマイスターウィーク及びマイスター賞について ・中学校部活動（新人大会）成績について ・ほうじゅチャレンジカップ 2012 市小学校対抗サッカー大会について ・能美市総合文化祭について
<p>平成 24 年第 13 回 (H24. 11. 22)</p>	<p>議案第 19 号 平成 24 年度能美市一般会計予算の教育関係補正予算の要求について</p> <p>議案第 20 号 平成 24 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 5 回子どもマイスターウィークについて ・全日本吹奏楽コンクール根上中成績について ・第 49 回歳末助け合い入札展について ・平成 25 年成人式について ・第 7 回市小学校対抗サッカー大会結果 ・第 10 回市町対抗ふるさと駅伝大会について <p>【教育委員からの意見・提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開授業を参観して、子供が興味を示したことに明確に答えてあげることが大きな教育的効果があると感じた。教育の一環として子どもの興味を引き付けておく授業の工夫 ・児童生徒の登下校時を地域の方たちがボランティアで見守り活動をしているが、子供たちのあいさつが十分にできていない。学校側から終わりの会などで見守り隊の方に『こんにちは』『ただいま』『ありがとう』や会釈など感謝の気持ちを伝える指導の要望 ・集団登校による教育的意義はかなり大きいと思うが義務化されていないのか。
<p>平成 24 年第 14 回 (H24. 12. 27)</p>	<p>議案第 21 号 平成 24 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 23 年度能美市教育委員会の点検及び評価報告書（平成 23 年度事業対象）について

	<ul style="list-style-type: none"> ・第5回子どもマイスター賞受賞者一覧及び子どもドクター賞（北陸先端科学技術大学院大学学長賞）の創設について ・マイスターウィーク終了後寺井・辰口両図書館で上位作品展示 ・NOMIばんぶー研究発表校の取り組み ・成人式について ・立志式及び大山加奈氏の講演について ・能美まなびフェスタ 2013 について ・市町対抗ふるさと駅伝の結果 ・市民スキー教室，第8回市民スキー大会について <p>【教育委員からの意見・提言】</p> <p>NPO法人えんがわと先端大白肌教授及び市立博物館学芸員のチームで地域の子供を対象に伝統文化の継承やふるさと意識の高揚のための講座を2月から5回開講を計画している。</p>
<p>平成 25 年第 1 回 (H25. 1. 25)</p>	<p>議案第 1 号 能美市体育施設管理運営規則の一部を改正する規則について</p> <p>議案第 2 号 平成 24 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度成人式参加状況について ・まなびフェスタは観光交流課と合同開催（6 分科会，お試し体験講座）について ・市民スキー教室実施結果について ・市民体育大会スキー競技，能美市耐寒継走大会について ・ジュニアスポーツクラブ 5 年生リーダー研修会 ・第 37 回全日本競歩能美大会について <p>【教育委員からの意見・提言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーを考慮した給食指導のあり方について ・教育的指導の必要性について
<p>平成 25 年第 2 回 (H25. 2. 21)</p>	<p>議案第 3 号 平成 25 年度能美市一般会計の教育関係当初予算の要求について</p> <p>議案第 4 号 平成 24 年度市一般会計の教育関係 3 月補正予算の要求について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能美市立小・中学校の卒業式について

	・スポーツ行事の開催，第37回全日本競歩能美大会について
平成25年第3回 (H25. 3. 19)	議案第5号 能美市立小中学校管理職異動内申について
平成25年第4回 (H25. 3. 25)	選挙第1号 能美市教育委員会委員長の選挙について 議案第6号 能美市教育委員会委員長職務代理者の指定について 議案第7号 能美市教育委員会教育長の任命について 議案第8号 能美市立学校医の補充の選任について 報告事項 ・平成18年度以降のいじめ等に関する主な通知文と関連資料について ・小中学校入学式について ・菜の花フェスタ ・第37回全日本競歩大会結果報告 ・スポーツ課事業高齢者健康クラブ開講式について

評価

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき，教育全般にわたる職務権限を有する行政委員会として，委員自らが重要な責務を自覚しつつ，職務遂行に必要な知識の習得・研修に取り組んだ。多様化する教育ニーズに対応し，市民にわかりやすく教育委員会の活動を説明していくとともに，能美市教育行政の基本方針である『地域に根ざし 豊かな未来を拓く 人づくり』の実現に向け教育の充実・振興に努めている。

〇意見

教育委員会は，地方教育行政の組織及び運営に関する法律上，およそ教育全般にわたる職務権限を有する行政委員会であり，定例会や臨時会において決すべき議案も多岐にわたっています。首長から一定程度離れた立場の行政委員会ならではの存在意義を發揮しながら，能美市の教育活動のさらなる活性化，まちとしての能美市の魅力の掘り起こしや発信に資するような教育事業の展開に大きな役割の發揮を期待します。

このたびの自己点検・自己評価報告書を拝見いたしましても，限られた予算をどの事業に何のために配分し，どのような成果が得られる可能性があるか，と言う自己分析，また事業遂行上，改善や見直しの方向についても真摯に向き合おうとする行政意思を感じ取りました。

教育行政による利益の享受者は，児童・生徒，教員，地域住民でなければならず，それはとりもなおさず能美市，県，ひいては国家社会の利益になるものと認識します。

もちろん，漫然と施策を遂行するのではなく，喫緊の課題については優先順位を高く設

定して、重点的かつ可及的速やかに予算を配分するなどメリハリのある施策としなければなりません。

自己点検・自己評価をつうじて、地域住民に対する説明責任を果たすとともに、評価結果を新たな施策の推進に活かし、その利益を地域住民が享受できるような仕組みづくりに役立て、今後の能美市における教育全般のより良い発展に寄与するものであることを切に願うものです。